支援プログラム公表用

株式会社seek 理念「 子どもたちが自分で未来を選択し明るく前を向いていける人生のお手伝いと 眠れる才能を開花させるその一歩を共に目指す。

多機能型事業所 放課後等デイサービス チャイルドウィッシュながら

支援方針

- 1.子どものできるを信じて一緒に歩む。
- 2.できることを一つでも多く増やし才能を見出す。
- 3.保護者の支えとなり寄り添い共に育つ。

健康・生活

- ・心身の健康状況の把握(日常の健康観察・学校の健康診断・毎日の体温測定)
- ・基本的生活スキルの獲得(食事・衣類の着脱・排泄時の一連の流れ・整理整頓の支援)
- ・構造化等による生活環境(わかりやすい時間や空間の構造化)
- ・自立支援と日常動作(挨拶・基本的日常動作の訓練等)

運動・感覚

- ・姿勢と運動・動作の向上(体幹トレーニング・プール・トランポリン・手押し相撲・サーキット・姿勢保持・挨拶時などの姿勢指導や補助手段を活用した支援等)
- ・姿勢と運動・動作の補助的手段 の活用(音楽に合わせて体を動か す遊びや運動・両足ジャンプ・け んけんぱ・楽器 等)
- ・身体移動の能力の向上(椅子取りゲーム・ハンカチ落とし・バランスボール・ドッチボール・ブランコ等)

に基づく支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。

認知・行動

- ・<mark>感覚や認知の活用</mark>(パズル・知 育玩具・五感やバランスを使った 遊び 等)
- ・知覚から行動への認知過程の発達(粘土・スライム・水遊び・ビジョントレーニング等)
- ・認知や行動への手掛かりとなる 概念の形成(ブロック遊び・ボール転がし・具体的な指示・時間に 関する認知の形成 等)
- ・数量、大小、色などの習得 (マッチング・大小仲間分け・教材・学習プリント 等)
- ・認知の偏りへの対応(環境設定・小集団での対応・適切な行動の形成・ルールのある遊び・SST等)

移行支援

- ・将来的な移行を見据えた目標や支援内容の設定
- ・進路先や移行先の選択への相談援助や情報提供
- ・併用利用先や学校との情報共有や支援のすり合わせ

職員の質の向上

- ・虐待防止、身体拘束等の研修への社内社外研修の実施
- ・事業所の運営に係る資格取得研修への派遣
- ・障がい児成長支援協会の研修やセミナーへの派遣

作成年月日:令和6年8月1日 営業時間:平日 9:30~18:30

土・祝・学校休業日 9:00~18:00

送迎実施の有無: あり

本人支援の5領域

コージープレイスでは、本人主体の個別支援計画を作成し、本人支援の5領域

言語・コミュニケーション

- ・受容言語と表出言語支援(個別の対応・気持ちの代弁・お題キャッチボール等)
- ・人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得(SST・ 異年齢交流・集団活動でのコミュニケーションの向上・童歌遊び・ 手遊び 等)
- ・非言語コミュニケーション活用 (指差し・身振り・サイン・絵 カード 等)

人間関係・社会性

- ・アタッチメントの形成(スキンシップ遊び・ふれあい遊び・ハイタッチ 等)
- ・感覚運動遊びから象徴遊びへの 支援(見立て遊び・ごっこ遊び 等)
- ・一人遊びから共同遊びへの支援 (鬼ごっこなどの役割のある遊び・ルールのある遊び・第)
- ・集団参加への支援(公共施設での活動・公園・図書館・社会見学・苦手意識の軽減・分かりやすいルール説明等)

- ・発達の成長に合わせた買い物体験、調理実習、社会体験活動
- ・将来を見据えた社会的スキルの習得、工場見学、障がい者支援 事業所への見学
- ・外出支援での社会体験や経験を活かした環境作り

主な行事等

例:夏祭り、ハロウィンイベント、クリスマス会、節分イベント、 科学館、博物館、収穫体験、木工体験、魚つかみ取り体験 等

家族支援

- ・子どもの発達状況や特性の理解に向けた相談支援
- ・子育てのお闲りごとや兄弟姉妹への相談支援
- ・子育てや障害に関する情報提供

地域支援・地域連携

- ・併用事業所や学校との情報連携や調整、支援方法や環境調整 の相談援助
- ・相談支援事業所や障がい福祉サービス事業所との支援の連携
- ・医療機関との情報連携や調整、その他関係機関との連携